

## テーマ型共創フロント 募集シート

### ■提案の募集内容について

募集テーマ	下水汚泥圧送管更生工法の開発
提案の募集対象 (テーマに関連する 事業等の概要)	【名称、概要、場所、その他データ等】 下水汚泥圧送管更生工法の開発 (目標値) ・内径 300～500mm DCIP 用更生工法 ・施工延長 200m 以上 ・内圧 0.75MPa 対応 ・下水汚泥圧送管用としての材質検討 (耐腐食性・耐摩耗性・想定耐用年数) ・曲管部分の更生も含む
提案を募集する 背景・課題	下水汚泥圧送管については、直埋設区間において漏出事故が頻発している。布設替による更新は多大なコストと期間を要するため、専用幹線の再整備など抜本的な対策と並行して、漏出事故を防止していくことは喫緊の課題となっている。
課題によって ①誰が ② どう困るのか	① 市民・下水道河川局 ② 老朽化に伴う汚泥の漏出事故が頻発しているものの、短期間かつ低コストで行える更生工法がないため、効果的な予防保全が行えず LCC が上昇してしまう。また、送泥管が破損し、送泥停止となると市民の生活に多大な影響を及ぼします。
課題に対して横浜市 が現在どう関わって いるのか	送泥管の運用 送泥管の維持管理
募集対象  ※チェックのついたもの が、今回の募集の対象 です	<input checked="" type="checkbox"/> <b>公民連携の提案及び連携事業者の募集</b> ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。 <hr/> <input type="checkbox"/> <b>公民連携の提案のみの募集</b> ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
横浜市が希望する 提案について	下水汚泥圧送管更生工法及びその実証のための模擬施設設置の提案・実施 設での検証
想定する提案の例	チューブテックス工法 塗料による補修

### ■提案にあたっての条件

募集期間	令和 6 年 12 月 2 日 (月) ～ 令和 7 年 2 月 28 日 (金)
実施予定時期	令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日
提案の形式	様式 3 の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で 選定します	<input type="checkbox"/> 特に選定をしません (提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない) <input checked="" type="checkbox"/> 審査等による選定等を実施 (提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む) <input type="checkbox"/> 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 <input type="checkbox"/> その他 ( )
横浜市から提供できる メリット	実施設での実証実験場所の提供
横浜市の予算措置の 可能性	あり (事業化を目指しています。)

<b>その他の留意点</b>	・既存の工法に限らず適用可能と思われる技術については、ご提案いただいて構いません。 ・施工方法だけでなく、検査方法（厚みの確認方法等）についても加えてご提案ください。
<b>提案のお申込み先・ 内容についてのお 問い合わせ先 （事業所管部署）</b>	横浜市 下水道河川局 マネジメント推進課 技術開発係 TEL 045-671-3967 FAX 045-664-0571 E-mail <a href="mailto:gk-gijutukaihatu@city.yokohama.lg.jp">gk-gijutukaihatu@city.yokohama.lg.jp</a>